



2021～2022 年度  
大船渡西ロータリークラブ会報

# 七福人



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために  
RI 会長テーマ

会 長 志田 成樹  
副会長 菅野 嘉洋  
幹 事 三田地 大悟

=会長指針=  
多様性を尊重し、  
未来につなげる

## ．．． 例 会 記 録 ．．．

7月第1週例会 2021年 7月 1日 (木)

ソング : 君が代・四つのテスト      ボックス : 28,000円      (報告者 浜田浩誠会員)  
本日出席率 : 69.44%      (報告者 熊谷雅也会員)

志田成樹新会長・三田地大悟新幹事へバッジが引き継がれ、  
「志田丸」本日出港!!



## ◆◆◆ 入 会 式 ◆◆◆



谷地 保 さん 1972年5月生 (有)城山商事代表取締役  
推薦者: 齊藤俊明会員

トヨタ自工の会社で、経営・整備を勉強してきた、根っからの車好き  
ご本人: こちらの会で奉仕活動を学んでいきたいと思ひます。  
会長のご発声で乾杯  
同級生が入会してくれて嬉しいです。これから一緒に頑張りましょう。

## ★ 会長の時間 : 志田成樹会長



今年度大船渡西ロータリークラブのテーマ「多様性を尊重し、未来につなげる」についてお話しします。  
まずなぜこのテーマにしたかと言うと、2021-2022年度 RI シェカール・メータ会長が多様性と言う言葉を多用していたそうです。  
そこで多様性と言う言葉を調べました。意味としては、いろいろな種類や傾向のものがあること。変化に富むこと。英語では「ダイバーシティ」だそうです。  
この言葉がなぜ、いつから使われてきたか、大きなきっかけは世界的にイノベーションが進んできたことです。

「イノベーション」とはモノや仕組み、サービス、組織、ビジネスモデルなどに新たな考え方や技術を取り入れて新たな価値を生み出し、社会にインパクトのある革新や刷新、変革をもたらすことを意味する。

Google や apple を始めとして、新しい発明が次々に社会の仕組みを破壊したからです。

インターネットが普及して、紙媒体の価値は絶対的なものではなくなりました。iPhone と apple store という生態系が生まれ、ほとんどのツールがアプリに置き換わりました。

発明による、社会の大きな変化、それがイノベーションそのものです。

こうした社会的変化の中で、破壊される側にならないためには、どうすべきでしょうか。答えは単純で、市場を新しく作り変える側になるということです。大きな企業であればあるほど、その必要性を認識する必要があるでしょう。市場が大きく変われば、直接ダメージを受けるのは、その市場を大きく牛耳る組織です。多様性が叫ばれ始めたのは、まさにこうした変化があったからです。世界が大きく変化すると同時に、多様性という言葉が大きな意味を持ちました。

なぜなら、イノベーションを発生させるためには、多様性が必要と言われているからです。

要するに、「イノベーション」変化や革新、新しいことにチャレンジするには「多様性」いろいろな価値観、考え方の人たちが必要だということです。

まさにロータリークラブだと思いました。性別や世代、職業など様々な人々の集まりです。

多様さを排除する方法が最適だった時代もあるかもしれません。

しかし、現在は違います。違う価値観を排除するのではなく、受け入れる必要があるのです。

本質的な多様さを受け入れ、意見を融合させる。自分とは異なる考え方を受け入れ、より別の価値観を取り入れていくこと。

それこそが、今後目指すべき多様性なのだと思います。

## ◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- 1 国際ロータリー日本事務局より 在宅勤務延長のお知らせが届いています。  
期間 7月1日~7月30日
- 2 ガバナー事務所より
  - ・ 2021-22年度ガバナー事務所開設のお知らせが届いています。  
開設日 本日7月1日 執務時間 土日祝を除く9時~17時
  - ・ 前期地区資金送金のお願い 送金期限 7月20日
- 3 第3分区ガバナー補佐より クラブ訪問予定が届いています。 当クラブ訪問希望 7/8
- 4 ロータリー情報研究所より ロータリー情報冊子の案内が届いています。

## ◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆ 会長・新役員挨拶

### ★ 志田成樹会長



改めまして、今年度会長を務めます志田でございます。

このような状況の中、第一回目の例会が開催できたことを嬉しく思います。

しかし未だに収束しないコロナ禍の中、変化していくことを求められています。

これまで当たり前に行われてきた例会やロータリー活動も開催できるかどうか分かりません。

今年度、一番のイベントであった大船渡東高校主幹の IAC 年次大会も中止となりレポート提出と言う形になりました。

しかし、レポート提出と言う形でも IAC の皆さんが、やりがいと思い出になるためにどうしたらいいか模索中です。

また昨年度、西クラブ 50 周年と言う大きな節目を迎え多くの先輩会員が退会されました。

これまで何十年と西クラブを牽引してきた先輩方がこの節目で退会されることは寂しいですが仕方のないことだとは思いますが。しかしあと一年見守って頂きご指導頂けたらと言う気持ちが正直な所です。ある退会された方から「志田さん、ごめんな。がんばって」と最後に声をかけられました。

これまでに何度か指導と言うお叱りを受けた先輩からの言葉でしたので、グッと込み上げてくるものがありました。

これから、西クラブが 60 周年、70 周年を迎えるための新しいスタートだと思っています。

会員増強を第一目標に総力を挙げて活動していきたいと思っています。

一年間、頑張りますので会員皆様のご理解とご協力よろしくお願ひいたします。

## ★ 菅野嘉洋副会長



この度副会長を拝命いたしました菅野です。

大変な役割を引き受けてしまったな、というのが正直な感想です。

副会長はクラブ強化部門の担当ですので、本年度はまさに正念場というか、今年度の動きが西ロータリークラブの未来を左右するくらいになってしまうのでは？というように考えております。

皆様もご承知でしょうが、前年度、前前年度にかけて多くの会員の方が退会されました。退会された事情は様々だと思いますが、昨今のコロナ禍による情勢

が大きな影響を与えたことは否めないと思ひ

ます。集まることがよしとされない状況がこんなにも甚大な結果をもたらすとは、少し前までは想像もしておりませんでした。非常に悔しい限りです。

ワクチンの接種が進めば、以前のように活動することへ近づくことができると思いますが、活気があるクラブづくりを進めていくには、会員数の維持・増大というのは必須です。

本年度はそのような思いで会員数の維持・増大に力を注いでいきたいと思いますが、それには皆様のご協力が不可欠です。具体的には、会員候補者の情報の提供を積極的にお願ひしたいと思ひます。その情報を基にリスト化し、説得にあたる会員を選定し、会員候補者へアプローチしていただく、というようなシステムを作れたらいいかなということを考えております。

至らない点も多々あるとは思ひますが、これから 1 年間ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

## ★ 三田地大悟幹事



今年度幹事を務めさせて頂くことになりました三田地大悟です。

昨年度はコロナ禍ということもあり、例会、研修が例年に比べ少ない中でも、皆様のご指導・ご協力のもと、なんとか副幹事を務めることが出来たかなと思ひております。ありがとうございました。

現在も引き続きコロナの影響がある中で、今年度、伝統ある大船渡西ロータリークラブの幹事を務めることが、入会して間もない私に務まるのかという不安

は、今もまだまだ尽きませんが、一旦お引き受けした限りは精一杯務めて参りたいと思ひます。

今年度、志田会長の指針であります「多様性を尊重し、未来につなげる」というテーマにあるように、コロナ禍だからこそ、我々ロータリアンがこの状況を恐れず、柔軟に、多様性のある活動をしていくための舵取りをするのが私の役目であると考えております。

昨年同様、例年に比べて例会や研修も減少することは間違いない事実ですが、この様な年度に幹事を仰せつかったからこそ、私自身がロータリアンとして成長できるものと信じ、この一年間志田会長のもと、微力ではありますがしっかり幹事の役を務めて参ります。

どうぞ、この一年、会員の皆さん、そして事務局の和賀さんの協力を頂きながら務めて参りたいと思いますので、ご指導・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

#### ★ 鈴木信男会計



2021～2022 年度会計を担当する鈴木です。一年間よろしくお願ひします。

会員の皆さん活動計画書をご確認なされたと思います。

一般会計予算書にここにこボックス予算書を見てのとおり昨年度の予算から約 200 万円減少しております。

固定費を差し引くと事業資金がかなり厳しい状況にあります。

五代奉仕委員会の活動計画が計画されております。

当ロータリークラブでは「ここにこボックス」の資金が活動の原資に充てられています。活動資金調達のためにも会員増強と例会出席率の向上と、さらには、ここにこボックスにもご協力ください。

次回の例会で会費の請求書をお配りしますのでよろしくお願ひします。

#### ★ 水野賢一会場監督



会場監督とは、例会をはじめすべての会議が楽しく、秩序正しく運営されるよう、つねに心を配り、気品と風紀を守り、会合がその使命を発揮できるように設営、監督する責任を有する人となっております。

これに沿って、当クラブの活動・例会を円滑に進めることができるように一年間努めてまいりますのでよろしくお願ひいたします。